

1 章 調査の概要

1 調査の目的

企業等における女性活躍に対する認識や、取組状況、課題などを把握・検証し、課題を整理して、「あいち男女共同参画プラン 2025」改訂の基礎資料とするとともに、今後の施策に反映させることを目的として、本調査を行う。

2 調査の内容

実施主体	愛知県	名古屋市(※1)
対象	愛知県内（名古屋市を除く）に本社のある企業 7,000 社（従業員 10 人未満を除く）	名古屋市内に本社のある企業 5,000 社
抽出方法	ベースコネクト株式会社提供している『愛知県の会社・企業一覧』（令和 5 年次ベース）から、従業員規模ごとの母数に基づいて比例割り当てした標本数を無作為抽出	事業所母集団データベース（令和 4 年次ベース）から、従業員規模ごとの母数に基づいて比例割り当てした標本数を無作為抽出
調査手法	調査手法：郵送配布 回答手法：郵便またはインターネットを通じて回収	
調査期間	2024 年 8 月 16 日（金）～9 月 9 日（月）	
回答	有効回答数 1,747 件 （有効回答率 25.0%）	有効回答数 1,072 件(※2) （有効回答率 21.4%）
設問	「社の概要」 ・本社所在地、社員数、業況など ・性別の社員数、採用数、管理職数など 「育児支援に関する取組」 ・育児中の社員に対する支援制度 「介護支援に関する取組」 ・介護中の社員に対する支援制度 「女性の活躍推進に向けて」 ・女性活躍に向けての取組、メリット、課題、自社に必要なこと 「行政への期待」	

※1 名古屋市の調査については、名古屋市が市内事業所における女性活躍推進の取組の現状及び課題を把握し、女性活躍推進施策立案にかかる基礎的資料の取得等を目的とした「名古屋市女性の活躍実態調査」によるものである。なお、調査方法、調査期間、設問については愛知県の調査に準じている。

※2 名古屋市のデータについては、有効回答のうち従業員 10 人未満の企業データを除いたものを使用している。

3 報告書の見方

- 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。そのため、パーセントの合計が 100 にならないことがある。
- 基数となるべき実数は N（number of case の略）として掲載している。本文中の比率はすべて N を 100%として算出している。
- 本報告書の表、グラフ等の見出しおよび文書中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。

- クロス集計では、属性などが無回答について非掲載としているため、クロス集計の回答者数の合計値が全体の回答者数を下回る場合がある。
- 報告書の中の集計表は、特に断りがない限り、上段が件数、下段が割合（％）を表している。
- 「令和元年調査」と記載されている場合は次の調査と比較している。
 - ・愛知県県民文化局男女共同参画推進課 「企業経営と女性活躍に関するアンケート調査」
 - ・調査対象 愛知県内に本社がある企業 7,000 社（従業員 10 人未満を除く）
 - ・標本数 有効回答数 1,707 件（有効回答率 24.4％）
 - ・調査方法 郵送配布・郵送回収
 - ・調査期間 令和元年 7 月 15 日～7 月 31 日

4 回答企業の概要

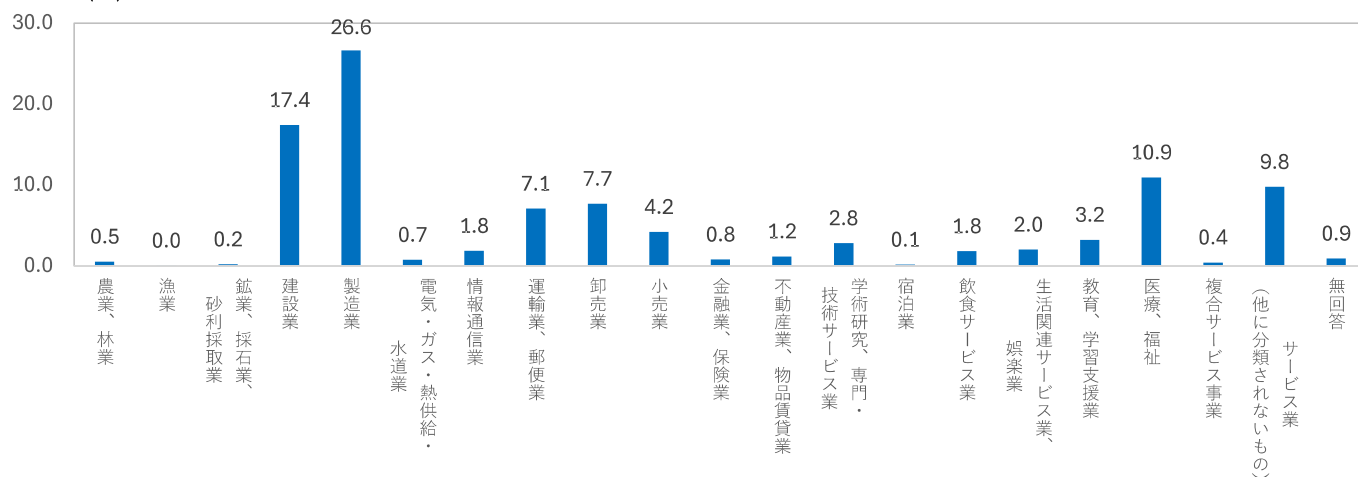
（１）本社所在地

- 「名古屋市内」が 38.0％と最も割合が高く、次いで「尾張（名古屋市を除く）」が 23.5％、「西三河」が 19.0％の順となっている。

全体	名古屋市内	尾張 (名古屋市を除く)	海部	知多	西三河	東三河	無回答
2819	1072	663	72	180	537	290	5
100.0	38.0	23.5	2.6	6.4	19.0	10.3	0.2

（２）業種

- 「製造業」が 26.6％と最も割合が高く、次いで「建設業」が 17.4％、「医療、福祉」が 10.9％の順となっている。



（３）全従業員数

- 「20 人以下」が 35.4％と最も割合が高く、次いで「21～50 人以下」が 35.0％、「51～100 人以下」が 12.7％の順となっている。

全体	20 人以下	21～50 人以下	51～100 人以下	101～300 人以下	301 人以上
2819	998	987	359	331	144
100.0	35.4	35.0	12.7	11.7	5.1